

< 図解文章法 1 >

- ・ 4行くらいしか書けずもう少し努力が必要だと思った。
- ・ ほとんどそのまま文章化でき、自分の意見で多少肉づけするだけでまともな理論になっているように感じた。
- ・ 具体的に書くことが大切だと思った。
- ・ 小論文を書くのが難しいのは、事柄について理解し整理できてないためだと分かった。図で整理しまとめることは重要。
- ・ 図解で表すのは文字で起こすよりも簡単でアイデアが出た。レポートに活用。
- ・ 一度図にしてから文章にした方がすらすらと自分の書きたいことを書けた。
- ・ 骨格を決めて具体的な事例を当てはめていけばいいという事を学んだ。具体的な事例を挙げることでこんなにも簡単に長い文章を書けると新たな発見だった。
- ・ 斬新な授業。
- ・ 1つ大きなテーマが決まっていると、そこから色々な関連ワードが出てきて図にしやすかった。

- ・ 文章は作成者が重要視することを軸に肉づけをしながら内容を深めていくものである。図解を文章作成の根幹を作る道具として利用することは理に適っている。また、主張の軸を曲げることなく文章を作成することが容易になる。首尾一貫した論理を展開することができる。
- ・ 図を見てそれを自分なりに置き換えて意見を加えて、とても分かりやすく説明できると思った。
- ・ 図解を用いて考えることで、レポートのレイアウトを明確にでき、図解は設計図だという言葉はその通りだと思った。
- ・ 深く考えて書けるので論理的。
- ・ 接続詞の使い方がポイント。
- ・ インターンや就活で使えそう。
- ・ 図解文章法を使うと、書く内容・話題が広がり、迷わず量のある文章を書けると感じた。プレゼンや論文の際に非常に助かるスキルであると思った。
- ・ 新しい切り口での、気張らない文章の書き方。樋口先生のライティングスキルとは違い、双方とも魅力。使い分けたい。

< 図解文章法 2 >

- ・大きな要因の中から分岐して要因がどんどん増えていくため自己分析や事柄を解明するときには非常に役立つ。
- ・図解を文章にすると書くべきトピックが常に分かり、元々整理してあるので、思いつきで書いて時系列や接続がおかしな文章になりにくかった。一見遠回りに見えるが結果的に短い時間でできるのではないかと思った。
- ・接続詞が上手に使えるようになると良い文章が作れる。
- ・最初と最後に結論を持っていき、真ん中でその結論に至った過程を表した。
- ・図にすることで自然と鉛筆が動き長い文章を書くことができることを学んだ。多くのレポートの課題が出てるので、図を描いてより分かりやすい文章を作成していきたい。
- ・とあるキーワードをピックアップし前後を繋げると違和感のない文章ができる。
- ・紙に文章を書くと次第に考えがまとまった。書きたい内容に近づけた。

< 質問・意見 >

- ・最終レポートについて知りたい。
- ・課題の提出にもう少し時間をいただけると助かる。

< 都知事選 >

- ・演説や公約をもっと読む人がいれば接戦になったのではと思った。
- ・ゼミの活動を優勢したため行ってない。
- ・最後まで悩み決められなかったため行かなかった。
- ・投票しました

< 投票率 > 56%

全体投票率55%・20歳代の投票率36%、1.5倍以上の投票率

< 支持者 >

小池百合子45%。宇都宮健児22%。山本太郎13%。
宇都宮と山本の野党統一ができていたら、互角のはずだった。実際の得票は小池は両氏の2.4倍以上の圧勝。2.4倍以上と互角の差がこの授業の効果。